

当院へ心不全で入院された方およびそのご家族の方へ

— 急性期心不全入院患者の在院日数規定因子とクリニカルパス運用の課題

調査への協力依頼 —

研究機関名およびその長の氏名：岡山協立病院 病院長 角南 和治

研究責任者：岡山協立病院 リハビリテーション部 真鍋 郁也

1) 研究の背景および目的

心不全は高齢化に伴い増加しており、再入院や長期入院につながることが多い病気です。当院では心不全患者様に対する治療・リハビリテーション・退院支援をより円滑に行うために「クリニカルパス(診療計画表)」の作成を検討しています。そのため、当院に入院された心不全患者様の診療記録をもとに、入院期間の影響する要因(年齢、リハビリテーション記録、治療経過など)を調べます。この調査をもとに、患者様にとって安全かつ効率的な診療体制を整えることを目的としています。

2) 研究対象者

2024年1月1日～2024年12月31日の間で当院へ「心不全」の診断で入院かつ、「心大血管疾患リハビリテーション料」を算定した患者様を対象とします。

3) 研究方法

研究対象者のカルテ内容から臨床情報を収集し評価します。対象患者様の個人情報は匿名化し分析をおこないます。また個人情報が漏洩しないようにプライバシーの保護に細心の注意を払っています。

4) 使用した情報

「退院までの日数」、「年代」、「介護保険の有無」、「LVEF(左室駆出率)」、「ラシックス(利尿剤)静注期間」、「入院時/退院時 Barthel Index(日常生活動作の自立度評価)」、「入院から初回リハビリテーション介入までの日数」、「座位到達までの日数」、「立位・歩行開始までの日数」

5) 使用した資料の保存

この研究に使用した情報は電子情報のみであり、個人情報を含まないデータとして保存されます。研究終了後5年間、パスワードで制御されたコンピューター内に保管されます。データ抽出に使用した患者IDはインターネットに接続されていない別のコンピューター内に電子情報として保存されます。

6) 研究資金と利益相反

この研究に使用された研究資金は一切ありません。また利害関係が想定される企業等で研究責任者や家族が活動して収入を得ているようなことは一切ありません。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、御家族等（父母などの親権者、配偶者、成人の子または兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容の不明点についても、担当責任者に遠慮なくお尋ねください。

この研究は、あなたの個人情報を特定するデータがわからない形で、学会や論文として発表されます。

この研究にご質問があれば下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（御家族の方等も拒否を申し出ることができる場合があります）に御了承いただけない場合には研究対象とはいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが発表された場合は、個人が特定できない形式の場合は情報を削除修正できない場合がありますので、御了承ください。こういった場合に診療など病院サービスにおいて患者様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山協立病院 リハビリテーション部

氏名：真鍋 郁也

電話：086-272-2121（代表 平日9時～17時）